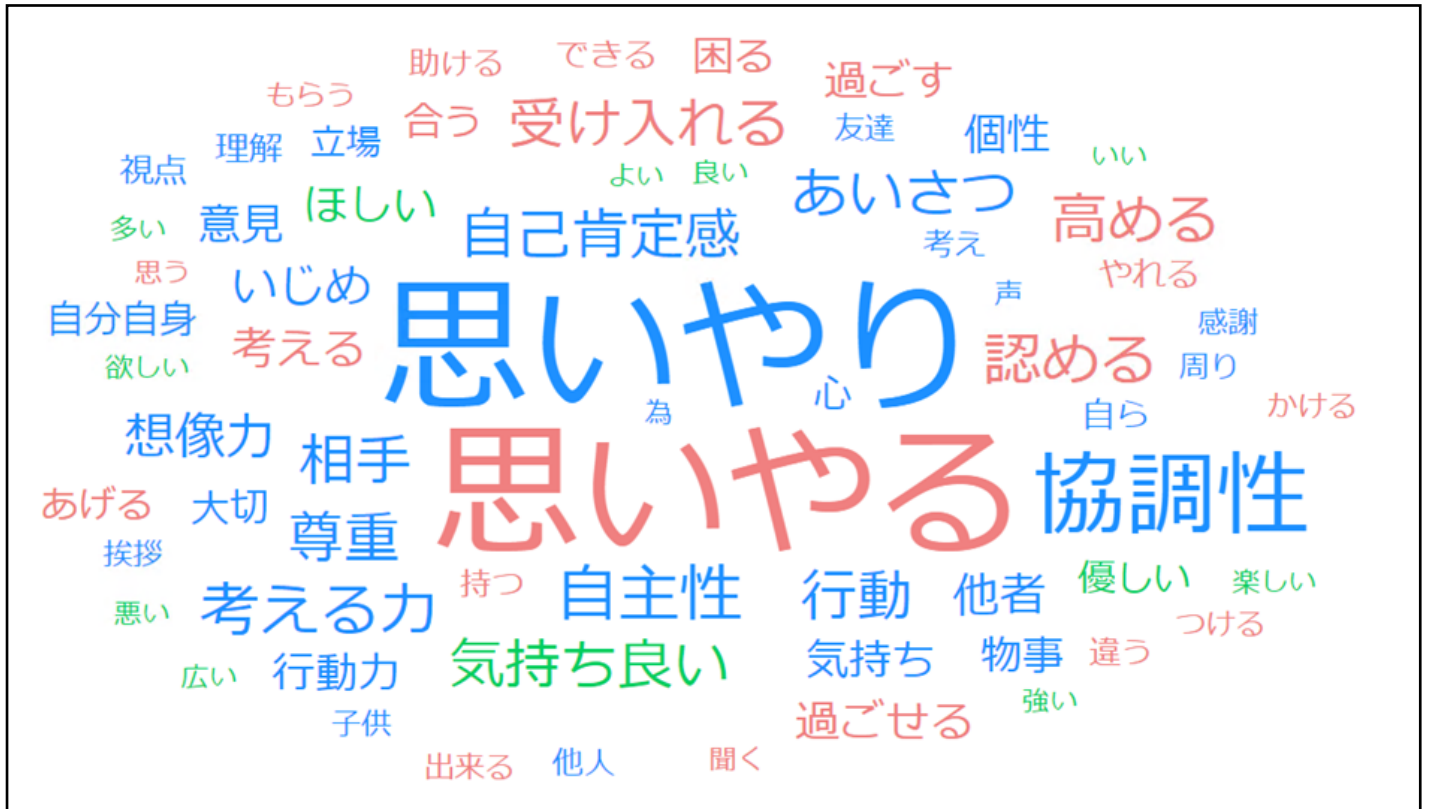


はちのす

木戸小学校学校だより
令和4年10月7日
No.266
在籍児童数402名
令和4年10月1日現在

木戸小学校で子どもたちに「育てたい力」について

校長 土田 学



- 上でお示ししたのは、以前アンケートでお聞きした「育てたい力」の回答を、テキストマイニングという手法でまとめたものです。大まかな傾向として、次のようになります。
- ・「相手を思いやる」「相手のことを考えて行動する」「相手の立場に立って物事を考える」「協力し最後までやり抜く」等、思いやりや協調性に関するものが多かったです。
 - ・「違いを受け入れる」「気持ちよく過ごせるために認め合う」「他者理解」「個性の尊重」等、自分と違う他を認め、相手の気持ちを理解する寛容性に関するものも多かったです。
 - ・「自主性」「考えて行動できる」「自己肯定感を高める」「夢や目標を見付けて頑張る」等、自らを高めるものも多かったです。
 - ・「話を聞き、理解する」「自分の考えをしっかりと言う」「友達とのコミュニケーション」「問題解決力」等、表現力に関するものも多かったです。
 - ・こうした力が具体的に表れた形として、「あいさつができる」「いじめをなくす」「困っている子を助ける」等具体的な行動レベルでの記述も多くありました。
 - ・「親切」「優しさ」「目上の人を大切にできる態度」「ルールを守る」等、規範意識や礼節を重んじるものも多かったです。

こうした「育てたい力」について、学校ではこれまでもねらいに位置付けながら様々な教育活動を行ってきました。今後も、こうした力の育成についてより意識しながら進めていきたい、そう考えています。